

令和2年度学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立両国高等学校・附属中学校 学校運営連絡協議会
- (2) 事務局の構成 主幹教諭(教務主任兼務)=事務局長、教務部員1名 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長(中、高)、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、総務部主任、計8名
- (4) 協議委員の構成
後援会(PTA)会長、同窓会事務局長、近隣中学校長、近隣小学校長、地域代表者1名、後援会(PTA)副会長(中、高) 中学校卒業生代表者 計8名

2 令和2年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会(第1～3回)の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和2年6月下旬予定
新型コロナウイルス感染症対策のため(緊急事態宣言下)、書面による開催
協議委員・評価委員の委嘱、学校経営計画、学校経営報告の確認
今年度の年間行事計画の確認
 - 第2回 令和2年12月1日(火) 内部委員8名、協議委員7名
委員紹介、これまでの教育活動に関する報告
学校の新型コロナウイルス感染症予防対策と、それに伴う教育活動等
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
 - 第3回 令和3年2月中旬予定
新型コロナウイルス感染症対策のため(緊急事態宣言下)、書面による開催
学校評価アンケート結果と分析、次年度の計画
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和2年12月1日(火) 内部委員3名、協議委員3名
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察
今年度の学校評価の実施に向けた観点や項目の検討、実施時期の検討
 - 第2回 令和3年2月中旬 内部委員3名、協議委員3名
新型コロナウイルス感染症対策のため(緊急事態宣言下)、書面による開催
アンケート集計結果の分析・考察等

3 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・12月 全校生徒 対象: 938人 回収: 902人 回収率: 96.2%
 - ・12月 保護者全員 対象: 938人 回収: 778人 回収率: 80.2%
 - ・12月 教職員 対象: 58人 回収: 54人 回収率: 93.1%
- (3) 主な評価項目
 - ・学校生活充実度、教育課程、授業内容、生活指導、教育相談、道徳、土曜授業、補習・講習、部活動、学校行事、施設・設備、保護者対応、読書活動、体罰防止、防災教育、ライフワークバランス、高大接続等新しい入試に対する項目に加え、本年度は新型コロナウイルス感染症関連の項目について評価している。
- (4) 評価結果の概要 (校長や学校全般への意見・提言内容)
 - ・生徒はおおむね本校の教員の授業について満足している。
 - ・生徒及び教員は土曜授業の回数について、多いと感じている。
 - ・例年と同様、施設・設備に対する不満や要望が、生徒、保護者、教員のすべてにおいて高い。
- (5) 評価結果の分析・考察
 - ・評価結果として毎年施設・設備への不満が生徒、保護者、教職員からあげられていることに対して早急に校舎の改装を進める必要がある。
 - ・ライフワークバランスについて、現状における教職員の生徒に対する手厚い指導との調整を図る必要がある。

- ・新型コロナウイルス感染症対策のためのオンライン授業について、次年度以降も引き続き改善を図っていく必要がある。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・生徒の学校評価アンケートの結果から、学校生活が充実していると答えた割合が昨年度よりも増加していることから、生徒にとって今年度の学校としての取組や教育課程が評価されていると学校評価委員会としては捉えている。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・学校の魅力を外部へ発信するための広報活動をさらに充実させていく必要がある。(高校募集が終了したので、今年度からは小学生に対する広報に力を入れる)
- ・教職員のライフワークバランスについて、長時間勤務を行っている教員が存在することから、学校行事の見直し等の検討が必要。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校運営

- ・生徒・保護者に対して、機会あるたびに学校の教育方針を説明し理解を得る。
- ・生活指導については、生徒の発達段階に応じて今まで以上に保護者との連携を強化する。(特にSNSの利用等について)
- ・生徒が主体的に学ぶ学習活動をさらに充実させていく。(探究活動の充実)
- ・教職員のライフワークバランスについて、協議委員の意見を参考に、業務の改善を図っていく。

(2) 学習指導

- ・生徒が主体となって意欲的に学ぶ姿勢を身に付けさせるために、現在以上に学習指導の充実(アクティブラーニング等の活用等)を図る。
- ・今年度高校1年、2年で実施した「探究」を中学にも波及させ、6年間を通じた教育活動として充実させていく。

(3) 特別活動

- ・学校行事の実施内容等を見直し、より深い体験を行うことができるようにする。また、中学生の文化祭への参加方法についても検討する。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら実施できる行事を計画する。

(4) 生活指導

- ・生徒や保護者へ生活指導の方針について丁寧に説明し、理解を得る。

(5) 進路指導

- ・キャリア教育を一層充実させ、自らの進路について主体的に考えさせる態度を育成する。
- ・分掌として新たに「研究部」を設け、6年間を通じた進路活動を計画、実施する。

(6) 健康・安全

- ・健康な体づくりのために体力向上をすべての教育活動において充実させる。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 8人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
6	2					

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、職員会議及び企画調整会議には参加していない。

8 その他

- ・例年のことであるが、老朽化した施設・設備について改築や改修を含めて要望する。
- ・令和3年度開催予定の120周年・15周年記念行事について、準備を進める。
- ・次年度も新型コロナウイルス感染症対策について適切に対処し、充実した教育活動を計画、実施していく。